

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2019年11月7日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	須坂市	代表者名	三木 正夫
担当者部署	総務部政策推進課	連絡先電話番号	026-248-9017
担当者役職		担当者氏名	
住所	382-8511 長野県須坂市大字須坂1528番地の1		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	遠藤 守
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	臥竜公園に関わる地元団体や中高の先生を交えた会議の設定と各団体の思いを酌んだ上での事業推進を提案頂いた。市が独自に進める活動ではなく、地域一体となり臥竜公園を活性化させる為に実りのある会合となった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年11月1日	16時30分	18時30分		120
3-2. 派遣場所	会場名	臥竜公園管理事務所		最寄駅	須坂駅
	所在地	長野県須坂市臥竜2-4-8			
	最寄駅からの交通手段	徒歩			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員、教員、市民団体、企業	9人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 専門知識、最新情報や動向を踏まえた上でのICT・オープンデータ活用に課題を感じている 地域の団体等との密接な連携が不足している 事業化にあたっての推進力が不足している 	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 公園内の樹木を市民や観光客へ知ってもらい、公園の魅力向上を図る 樹木管理においてはICTにて効率化を図ると共に持続可能な運用方法・体制を整備する 	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体「桜守りの会」から4名、市内学校関係者(中高教員各1名)2名を交えて会議を開催し、看板活用方針を中心に公園の活性化案についてアドバイザーより説明を頂き、意見交換を実施。 	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> 年度内の実現目標と継続的な運用方針について同意 →年度内: 学生との協同(手作りイラスト等)による看板作成、QRコードまたはNFCタグの活用による情報発信 →継続的な運用方針: 看板への説明等は適宜更新していき、多種、多様なニーズに対して対応できるような看板運用を目指す。例: 桜に関係する俳句の掲載等 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない事業の途中段階の為、未実施
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	来年度以降の運用方針については継続協議	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事業の途中段階の為、未実施	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

